

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	橋梁の長寿命化修繕計画策定事業	会計	一般会計	事業No.	573	施策順No.	44-007
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-2-5-10-1		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	土木課		
施策	44 交通機関と道路の充実		事業期間	開始	20	終了	23

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	飯田市で管理する橋梁					A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない						
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)						19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		橋梁数:橋						917	917	926	926	926	
	意図	橋梁の点検を行い、長寿命化修繕計画を策定する。											
対象をどう変えるか	意図	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)					19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		点検を行なった橋梁数:橋					7	46	164	768	294	768	C
		修繕計画が策定できた橋梁数:橋					0	0	0	0	0	384	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	22年度では、604橋の点検を予定していたが、点検橋梁の条件(橋梁下部等が確認しにくい)が悪く、スムーズな点検ができなかったため、目標に達する事ができなかった。												

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>今後老朽化する道路橋の増大に対応するため、長寿命化修繕計画を策定することにより、従来の事後的な修繕及び架替えから予防的な修繕及び計画的な架替えへと円滑な政策転換を図るとともに、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架替えに係る費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋梁の健全度の把握 ・長寿命化修繕計画の策定 		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	橋梁の健全度の把握(橋梁点検)社会資本整備総合交付金事業 橋長15m以上・・・2橋 橋長2m以上15m未満・・・128橋	点検橋梁数	130橋
23年度実施計画	橋梁の長寿命化修繕計画策定(社会資本整備総合交付金事業) 橋長15m以上・・・167橋 橋長2m以上15m未満・・・200橋	修繕計画策定橋梁数	367橋

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金		4,900	4,900	5,500	
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		4,162	4,162	4,500		
計 (A)		9,062	9,062	10,000		
	正規職員所要時間					(国)社会資本整備総合交付金(活力創出基盤整備) (1/2)500千円 (国)社会資本整備総合交付金(活力創出基盤整備) (5.5/10)4,400千円
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)		0			
	トータルコスト A+B		9,062			

4 事業に対する市民や議会の意見

平成20年第1回定例会一般質問で飯田市の取り組みに対する質問があり、早期実施が要望された。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞在者、財産、事業者が便利で安全に移動ができる。	施策の成果指標又はムトス指標	市内の移動に不便を感じる市民の割合(道路):%
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	橋梁長寿命化修繕計画策定するための事前調査、橋梁点検を、橋長15m以上及び緊急輸送路に関する橋梁を優先とし、294橋の橋梁点検を行った。		
	後期に向けた課題	橋梁点検済みの橋梁の中で、橋梁長寿命化修繕計画の策定が必要な橋梁については、修繕計画策定後、橋梁修繕事業(工事)を進めて行く必要がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	橋梁点検、長寿命化修繕計画の策定にあたり、優先順位を考え、緊急性・必要性の有る橋梁から行い、重要な橋梁の健全度の把握に努めた。		
	後期に向けた課題	橋梁点検、長寿命化修繕計画の基、重要度、緊急性の高い橋梁から橋梁修繕事業を進めて行くことにより成果を向上できる。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	優先順位を考え、重要な橋梁から点検作業に着手し、出来る限り職員で点検を行った。		
	後期に向けた課題	緊急性、修繕工法を検討して、コスト削減を図りたい。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切 でしたか	4年間の振り返り	市道の橋梁であり管理者として、橋梁の管理を行う。		
	後期に向けた課題	市道の橋梁であり、引き続き橋梁管理者として関与する。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果 たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政 はどのような働きかけをしてきましたか、 又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	① 橋梁の管理者は飯田市であり、通行車両及び歩行者の安全確保。② 橋梁管理者としての安全確保のための橋梁長寿命化修繕計画策定。		
	後期に向けた課題	① 橋梁の管理者は飯田市であり、通行車両及び歩行者の安全確保。② 橋梁管理者としての安全確保のための橋梁長寿命化修繕計画策定。		
全体を通じて	4年間の振り返り	飯田市で管理する橋梁は約900橋程あり、点検についても、架橋年度、重要路線など、優先順位をつけて点検を行い、橋梁長寿命化修繕計画策定のための調査・点検を行い、策定準備が一部できた。		
	後期に向けた課題	橋梁長寿命化修繕計画の策定が必要な橋梁から計画を策定し、効率的な橋梁修繕を行い、また定期的に点検を行い、橋梁の状況を把握する必要がある。橋梁修繕に必要な予算確保も必要である。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ある	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------